

ゆのまえ 議会だより



No. 52

令和7年
11月1日発行

「住民に見える議会」
「住民が参加しやすい議会」
「議会力・議員力の向上」を実現する

もっと伝わる議会へ



- P2 **特集** 広報常任委員会の取り組み
- P4 **本会議** 暮らしと地域に投資
- P9 **一般質問** 4名が執行部の考えを質す
- P14 **議員派遣** 国道219号整備の要望活動
- P16 **委員会** 人吉球磨准看護学校への支援請願を審査
- P18 **議会の窓** 関連質問なくしました
- P19 **一部事務組合** 4年ぶりの赤字決算
- P20 **住民の声** 議会だよりを読んでの感想

今号の画像

写真は編集会議の様子。広報常任委員会は、研修で得た学びを生かし「伝わる」紙面づくりを協議中。各委員が役割分担し、誌面設計に力を合わせて取り組んでいます。

特集(2ページ)につづく・・・

特集

広報常任委員会の取り組み

住民との距離を縮め「もっと伝わる議会」へ

湯前町議会の広報常任委員会は、議会と町民をつなぐ橋渡し役として、議会だよりを中心に広報活動を行っています。

これまでの広報活動は、紙面の拡充やYouTube配信など段階的に進化してきました。さらに、近年の情報環境や住民ニーズの変化をふまえ、広報活動のさらなる進化が求められています。

こうした背景のもと、委員3名が「全国町村議会広報研修会」に参加。住民との距離を縮める工夫や他自治体の実例・改善事例などを学び、研修で得た成果や新たな方針を委員会で共有しています。

議会だよりと広報の歩み

～進化の記録～



※画像は該当年代に発行のもの

受賞歴

年度	町村議会コンクール(※県の開催は2年に1回)	獲得賞
平成30年	熊本県町村議会広報コンクール	特別賞
令和2年	熊本県町村議会広報コンクール	特別賞
令和3年	全国町村議会広報コンクール	奨励賞(企画・構成部門)
令和6年	熊本県町村議会広報コンクール	特選(最優秀賞)

研修に参加、その成果を今後の誌面へ



令和7年度町村議会広報研修会

期 間	令和7年8月28日 ～ 令和7年8月29日
場 所	LINE CUBE SHIBUYA
派遣議員	田山 幸平 椎葉 弘樹 西 靖邦

研修の要約

[1] 伝わる記事づくりのヒント

“人の声”が紙面をいきいきとさせる
記事にインタビューやその人らしい言葉を取り入れることで、読者の共感を呼び、伝わる紙面になる。

[2] SNS時代の動画活用

スマホで撮って、紙面と連動
今はスマートフォンで手軽に動画広報が可能な時代。撮影の基本と簡単な編集で告知動画やインタビュー映像が作れる。

[3] 広報は議会活性化の原動力

「伝える」は「つなぐ」こと
町民と議会を結ぶ“広報”は、議会を身近にし、関心を高める第一歩。議会だよりは全戸に届く強力な媒体であり、顔が見える小規模自治体こそ、役割と効果が大きい。

新たな方針

▶インタビュー記事の導入

「人の声」をより取り入れた記事づくり
従来の取り組みに加え、町民の生の言葉を計画的に拡大。読者が人を通じて議会を身近に感じる紙面へ。

▶動画の活用

議会×動画の連動を調査・試行
告知・解説動画と誌面の連動で、内容の理解度と認知範囲を広げていく。

▶議会活性化との連動

読者参加の仕組みを構築
全戸配布の強みを活かし、アンケートや意見募集の仕組みを整備。顔の見える発信と双方向の対話で、議会の活性化につなげる。



私たち広報委員は、今後も「住民に見える議会」「住民が参加しやすい議会」「議会力・議員力の向上」を目指して、新たな方針を実現しながら「もっと伝わる議会」へ進化していきます。

暮らしと地域に投資

令和6年度決算認定

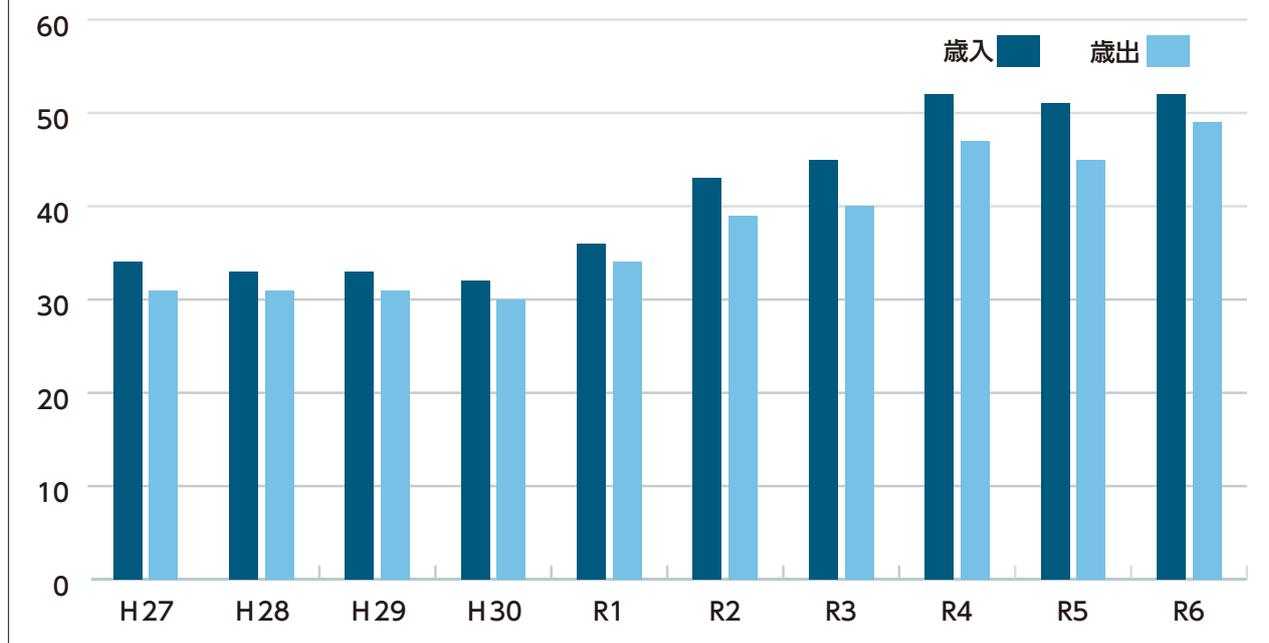
本会議

9月定例会は、9日から18日まで10日間の日程で開かれまして、議員4人が一般質問を行いました、令和7年度補正予算や条例改正、決算認定などを審議しました。また、7月23日に臨時議会を開いています。

令和6年度は、全体として安定した財政運営だったよ。地方交付税の増加や繰越金の活用、必要な地方債の発行で、財源を確保しているよ。一方で、総務・商工・教育分野の経費が増えて、物価・エネルギー対策や施設整備など「いま必要な投資」を進めた一年だったね。国からの補助金(国庫支出金)は減っているの、令和7年度も計画的な財政運営が大切だよ。



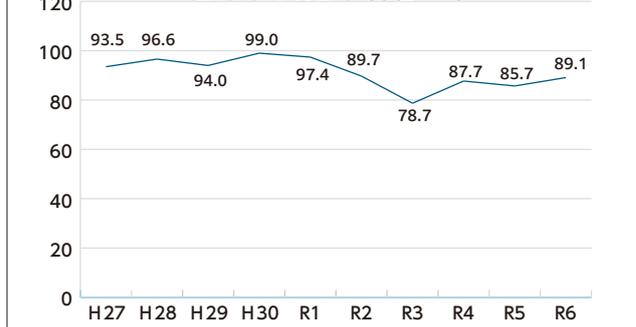
一般会計予算 10年間の推移 (単位：億円)



経常収支比率は89.1%。この指標が高いほど、町が自由に使えるお金は少ないんだ。年度ごとの上下は、交付税や臨時収入の影響も大きいよ。継続的に80%台を目指し、経常経費の抑制と選択的な投資で弾力性を高めていきたいね。



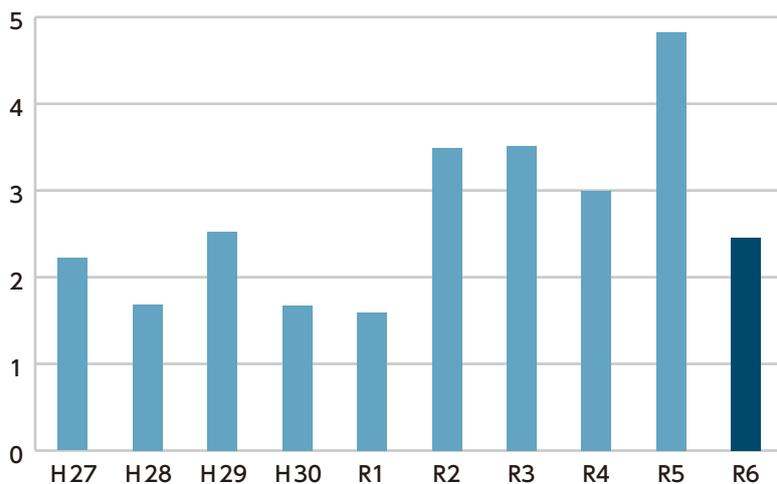
経常収支比率 (単位：%)



歳入歳出の差引額から翌年度へ繰り越す財源を差し引いた「実質収支」は、2億4599万1000円の黒字決算だったよ。



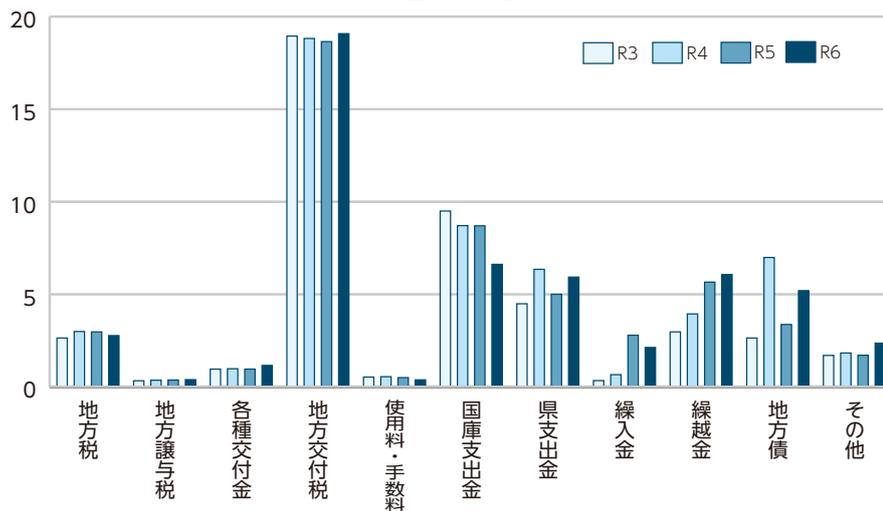
実質収支額 (単位：億円)



歳入のうち「地方交付税」「国庫支出金」「県支出金」などの依存財源は、歳入全体の8割ほどあるのだ。



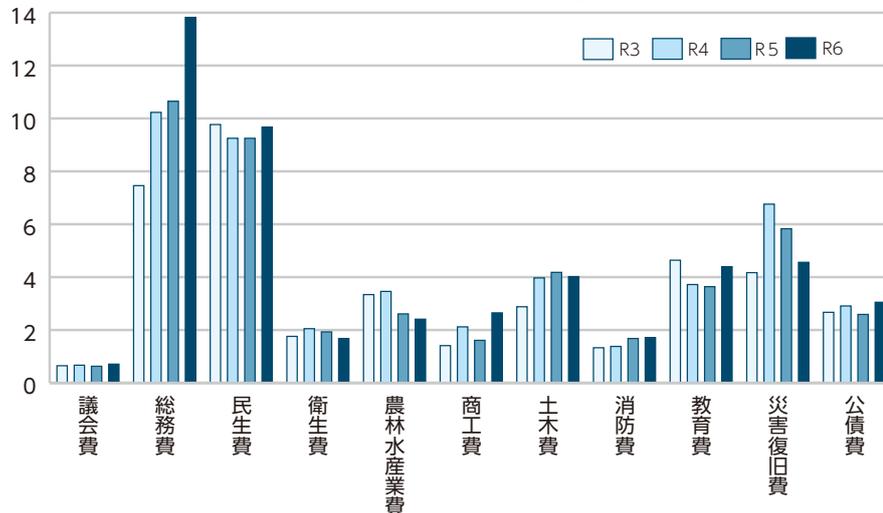
歳入の推移 (単位：億円)



総務費や商工費および教育費が上昇したよ。物価高騰対策に対する給付金事業、まんが美術館や湯前駅レールウイング複合施設の再整備事業などが行われているのだ。



歳出の推移 (単位：億円)



補正予算

龍谷大女子柔道部と連携

湯前町ロゴでPR
82万5000円

湯前町ロゴのワッペン150枚を用意し、龍谷大学女子柔道部の公式ベンチコート、ジャージ、スウェット、ポロシャツ、練習用道着に貼

付します。掲載期間は、令和7年10月～翌3月の6カ月間です。

同部は、全国大会や主要大会で上位入賞を重ねる強豪で、これまで町内で15回の合宿を行うなど、本町との関係も深いチームです。試合や合宿、SNSやメディアを通じて、湯前町の認知度向上と交流人口の拡大が期待されます。



歓迎交流会



小中学生との合同練習会



辻地区沈砂池整備事業 位置図

水利施設整備費を追加
辻地区沈砂池整備工事

500万円

球磨プレカット横を流れる町田川に792㎡の沈砂池を整備します。当初予算で5700万円を計上していましたが、工事費の不足が見込まれるため、今回の補正予算で500万円を追加します。

この沈砂池は、令和2年7月豪雨や令和4年台風で発生した土砂流出による水田被害を防ぐために整備するものです。財源は、団体営水利施設等保全高度化事業(簡易整備型)の補助金などを活用します。

※関連記事は、議会だよりNo.50(7ページ)を参照。

緊急修繕を専決処分
で実施

観光施設 落雷修繕料

830万円

6月29日(日)午後4時頃の激しい雷雨で、ゆのまえ温泉楽里の防災監視システム、荷物用昇降機、エアコン39台中10台が故障しました。避難誘導に不可欠な防災設備と、酷暑下での受入れに必要な空調を早急に復旧するため、この補正予算を町長の専決処分としました。

修繕費は、建物災害共済金から全額支払われ、町の一般財源からの支出はありません。

命を守る通報設備の
修繕

高齢者生活福祉センター

ナースコール取替修繕料

166万6000円

高齢者福祉センター「湯愛」の居住部門で、緊急時に職員へ通報するナースコールが故障しました。入居者の安全確保に直結する設備であることから、迅速な復旧を最優先し、既存機器の取替修繕を実施します。

県事業第4弾

令和7年度湯前町LPGガス価格高騰対応生活者支援事業補助金

138万円

熊本県LPGガス協会が実施するLPGガス使用世帯支援事業(第4弾)に対し、町が補助金を交付して家計負担の緩和を図ります。

財源は、県の物価高騰対応生活者支援交付金と、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(推奨事業メニュー)を活用します。

教えてゆっくん

専決処分って何？

議会を招集する時間がない緊急時に、町長が先に決めて実行し、あとで議会に報告・承認を求める手続きだよ

※地方自治法179条



条例改正

湯前町避難防災交流施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正

湯前駅レールウイング複合施設の再整備に合わせて、施設の区画や利用区分を現状に合わせて整理するための条例改正を可決しました。

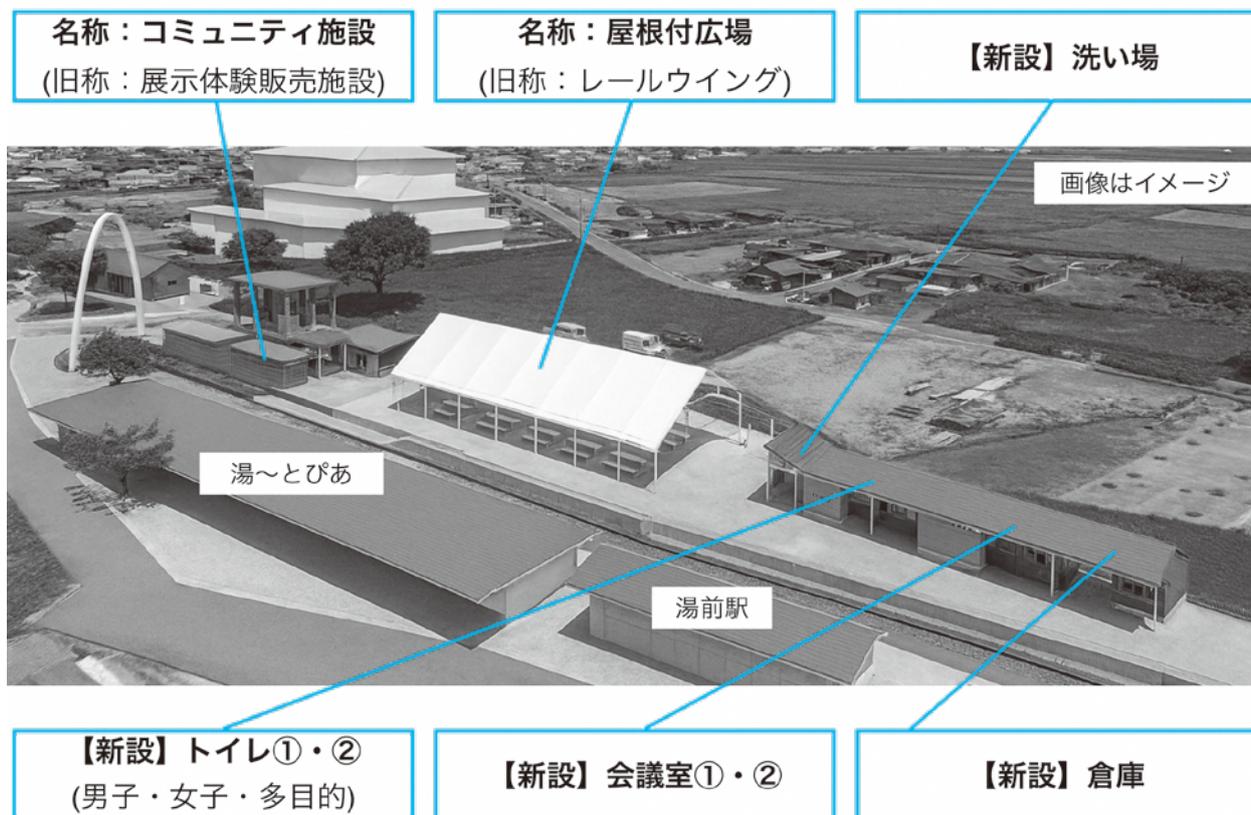
今回の改正では、施設の名称を再編して新設区画を反映するとともに、利用料の見直しや新設を行いました。

湯前町議会基本条例の一部を改正

今回の改正は、議会活性化特別委員会の提案によるものです。

平成30年9月定例会から運用してきた「一般質問の答弁に対する関連質問」を、委員会で検証した結果、会議運営の効率性や発言の効果が十分でないと判断しました。このため、関連質問の仕組みを廃止することにしました。

※この記事の関連は、「議長の窓(18ページ)」を参照。



条例改正に伴う料金表(上限額)

区分	単位	料金	追加料金
屋根付き広場	1日	10,000円	電気・水道使用時+ 1,000円
	半日	5,000円	電気・水道使用時+ 500円
コミュニティ施設	1時間	300円	冷暖房使用時+ 100円
会議室①・②			

※営業目的で使用する場合の利用金額は、「利用料金の額」の2倍

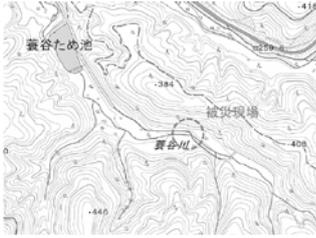
その他の議案

物品購入契約の締結
湯前町会議用タブレット端末の購入

契約の方法は、一般競争入札、契約の金額は614万2851円、契約の相手方は「宮本電機株」です。
〈物品および数量〉
・会議用タブレット端末86台
・MDMライセンス3カ月分
・その他付帯物

工事請負契約の締結
伍八橋災害復旧工事
(第3工区)

契約の方法は、指名競争入札、契約の金額は1億1000万円、契約の相手方は「株ハリマ建設」です。



位置図

請願を趣旨採択
准看護学校への支援強化を求める請願

前号でお知らせした「人吉球磨准看護学院へのさらなる支援を求める請願」（請願第1号）は、総務厚生文教常任委員会で趣旨採択され、本会議でも全会一致で可決しました。

※委員会審査の詳細は、「委員会（16ページ）」を参照。

湯前町固定資産評価審査委員会委員の選任
2名を同意(任期3年)

- ◎右田 義郎さん(野中田3)
- ◎松原 九州男さん(上里3)

議案審議の賛否一覧

[議案13件 認定6件 同意2件 発委2件(7月~9月)]

議案	田山 幸平	吉田 精二	西 靖邦	遠坂 道太	椎葉 弘樹	森山 宏	味岡 恭	倉本 豊	山下 力	金子 光喜	審議結果 (賛成：反対)
7月臨時会 議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決 (9 : 0)
9月定例会 議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決 (9 : 0)
[認定] 令和6年度特別会計の決算認定	○	○	○	○	-※	○	○	○	○	-	可決 (8 : 0)
上記以外	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決 (9 : 0)

○：賛成 ×：反対（今回なし） -：採決なし（議長は採決に加わりません）

※：特別会計の決算認定は、慣例により副議長が議長を務めます。

一般質問

4名が執行部の考えを質す

質問者(登壇順)	質問項目	ページ
吉田 精二	①敬老祝い金	10
椎葉 弘樹	①スポーツ施設の使用料と改修	11
遠坂 道太	①安心安全のまちづくりに取り組むための防災対策	12
山下 力	①湯楽里の定期券利用料金	13

特別企画 前回一般質問 YouTubeアクセスランキング

一般質問への町民の関心をより高めるため、YouTube動画へのアクセスランキングを公表します。議員のやる気につながりますので、ぜひ動画をご覧ください。

議員名	6月一般質問
西 靖邦	674
椎葉 弘樹	362
田山 幸平	96
遠坂 道太	74
味岡 恭	70

(令和7年10月1日時点でのアクセス数)

一般質問の YouTube動画配信

一般質問は、YouTubeで動画配信を行っています。この動画は、パソコンやスマートフォン、タブレット端末から視聴できます。「いいね」や「チャンネル登録」をよろしくお願いいたします。



© YouTube 動画(「湯前町オフィシャル」で検索)

前回一般質問のYouTubeサムネイル





吉田 精二 議員



質問の様子は
こちら

問 敬老祝い金

答 元に戻す考えはない

議員 減額されている敬老祝い金を増額する考えはないか。

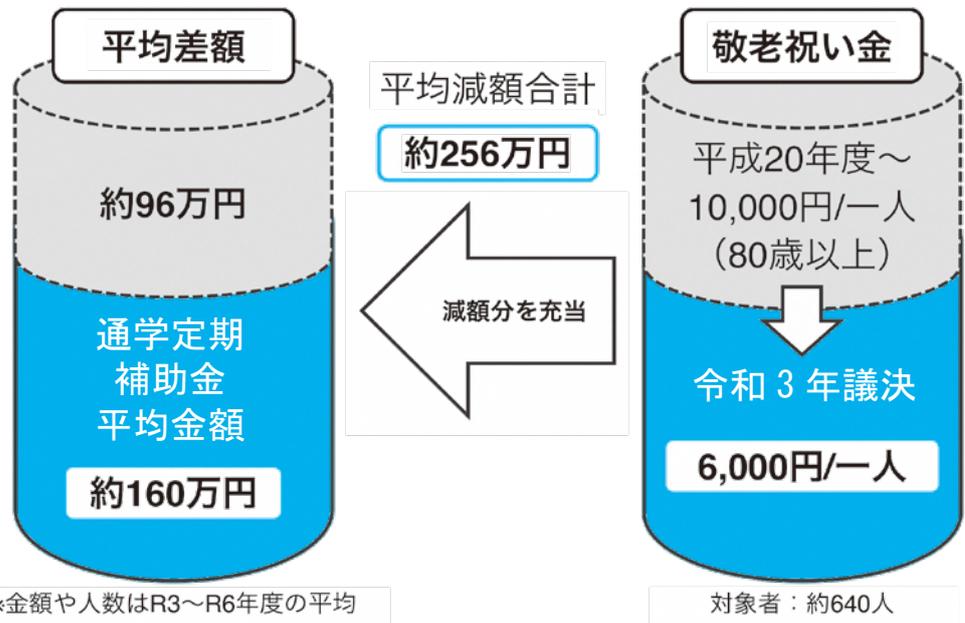
町長 令和2年7月豪雨による「くまがわ鉄道」の運休と、コロナ禍により過酷な生活を余儀なくされている列車通学の生徒や保護者を支援するため、財源を検討。その中で、一般財源で実施している敬老祝い金に着目した。

その後、老人会長に意見を求め、子供の通学定期補助の財源であればと同意を得る。併せて、老人会の役員とも協議をし、全額でもよいとの意

見もあつたほどの同意を得て、4000円減額した条例改正案を上程し、議会で議決したのが経緯である。

今年の決算では、扶助費や投資的経費の増加が目立っている。今後は、物件費や補助金などの節減を図ることはもちろん、真に必要な施策を見極めていくべきとの監査からの意見もある。

「いままで貰っていたから当然貰う権利がある」ではなく、真に必要な事業の選択と集中で動いている現在の状況を理解いただきたい。



現在、職員が敬老祝い金を持参しているので、対象者の意見を集約してみる。

町民の物価高騰に苦しんでいる状況は理解している。

「たった4000円ではないか」といわれるが、行政全体のバランスを考えながら町財政を考えているので、元に戻すことは考えていない。

議員のつぶやき

一般財源支出は理解しているが、高齢者には「子ども支援のため減額」と説明されたはず。整合性を示し、敬老祝い金を元に戻してほしい。

問 スポーツ施設の使用料と改修

答 調査や検討をい対応

議員 B&G海洋センターと町民グラウンドの施設使用料を見直す考えはないか。

課長 使用料の改定は、平成元年に消費税相当額の料金引き上げを行って以来、行ってない。

教育長 消費税の段階的引き上げや、経済情勢の変化を考慮し、他の自治体の使用料や運用状況を調査した上で、料金改定の必要性を検討したい。町内スポーツ団体加入者への

割引制度の導入は、近隣自治体の事例を調査し、必要に応じて関係者と協議したい。

議員 B&Gトレーニングルームの施設改修をどのように進めていく考えか。

教育長 将来的な整備には、町内外の利用状況を見極め、施設の規模や建設場所、財源確保などの具体的な計画を策定する必要がある。令和7年度内にスポーツ団体などとの意見交換を行い、スケジュールを策定したい。構想策定費など必要な経費は、令和8年度予算への計上を検討したい。



質問の様子は
こちら



椎葉 弘樹 議員

【現状】 使用料 30年以上改定なし!!



議員 B&Gプールの温水化を再検討する考えはないか。

課長 プールの利用状況は、全国のB&G上屋根付きと屋外プール223カ所の中で上位。キャンプ場利用者への利用券配布やSUP、水辺の安全教室、消防署の水難救助訓練など、遊泳以外の幅広い活用ができています。温水化の検討は、平成25年度に行っているが、環境は大きく変化している。

教育長 プールの開館期間は、常時22度以上を保てる6月からの4カ月間。温暖化の影響で、温水化なしでも期間を延長できる可能性がある。まずは開館期間以外の水温調査を実施し、期間延長の可否を確認する必要がある。温水化には相当な経費がかかるため、利用者数の増加が見込めない場合、温水化の再検討は難しい。

【現状】 プール開館期間が短い!!



水温に応じた温水化？

議員の

つぶやき

スポーツ施設の充実で、健康や交流人口の増進、地域経済や防災力の強化を、各課連携で総合的に進めてほしい。



遠坂 道太 議員



質問の様子は
こちら

問 安心安全の街づくり に取り組むための防災対策

答 体制と機材などの充実

議員 防災時における生活用水を確保するため、防災井戸の整備を行う考えはないか。
課長 湯前町の防災井戸は、上里2区の国道沿いに町が整備した駐車場の横に、防災井戸を1基設置している。

指定避難所で最も多く必要になるのは水だと考えている。本町では、臭いや菌が残らない安心で衛生的な簡易トイレを多く備蓄している。
町長 現状把握している災害時の協力井戸は30基となっているが、これ以上に井戸があるのではないかと思われるた

め、調査をさせたい。
防災に対する考えは、命を守る安心安全なまちづくり。「災害は忘れたことになってくる」と言われているが、近年は毎年のように災害が発生し、気候変動によって激甚化、頻発している。自然災害に備えるため、日頃からの防災減災に取り組む必要がある。
防災・減災、国土強靱化を掲げ、現在、政策や施策を実行している。今後も、災害に備えた体制と機材などの充実を図り、その対応を行っていく。

議員の



町民の命を守る安心安全なまちづくりに取り組むための防災対策に期待する。

上里地区 防災井戸





山下 力 議員



質問の様子は
こちら

問 湯楽里の定期券利用料金

答 安定した運営を確保することが適切

議員 定期券の値上げによって350万円の増収を計画されていたが、実際には大幅に下回った。町長の考えは。

町長 4月からの値上げを予定していたが、完全に移行したのは10月からであった。見込み額には達しなかったが、100万円近い増収にはなったということ、一定の経営改善はあったと考えている。

議員 湯前町グリーンパレス設置及び管理条例で利用料金の下限を定めてあるが、上限を定めるべきでないか。

町長 上限を設ける考え方は、利用者の過度な負担を防ぐ点で一定の意義はある。しかし、第3セクター方式で運営する湯楽里の利用料金は開業当初から下限を設定して、収入を安定的に確保し、将来的に持続可能な経営基盤を築くことが大事であるということとで制定されている。過度な値下げや割引を抑制し、必要な利用料収入を下支えする仕組み、町財政への影響を最小限に抑える狙いがあったと考える。

利用料の下限を条例に定めることにより、採算割れを防ぎ、安定した運営を確保することが適切であると判断する。

議員 運営補助金として公的資金による支援をしてはどうか。

町長 経営改善の努力は当然必要だが、その上で、施設の性格が単なる営利事業ではなく、町民の暮らしや地域活性化に直結する公共的な存在であるということ踏まえれば、一定の公的資金による支援もやむを得ないと考えている。赤字解消と健全経営を目指すしつつ、町民にとって必要不可欠な湯楽里を存続させることが最も重要とも考えている。

議員や町民の皆さまの意見を拝聴しながら、持続可能な運営体制を築くために経営改善と公的支援の双方を組み合わせ、責任を持って施設の維持に努めていきたい。

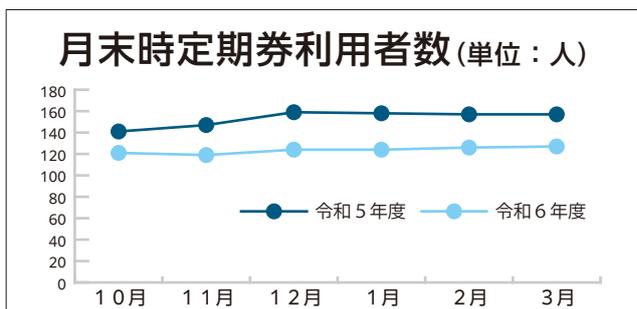
下限を設定した利用料金(条例より抜粋)

区分	利用料金の額		備考	
温泉棟	入浴	1人1回大人	400円	大人は中学生以上
		3歳から小学生	250円	
		3歳未満	無料	
家族風呂	1室	1,500円/時間(入浴料を含む)	30分増すごとに500円	

※入浴料は上記の定める額を下回らない範囲で指定管理者が定めるが、あらかじめ町長の承認は必要。

※定期券の記載はなし。

※住民利用者の目線ではなく経営者を守る条例になっているのでは。



議員のつぶやき

条例改正を行うべきであり、値上げされた定期券料金を元に戻して段階的値上げを。

議員派遣

三市町村議会国道整備促進合同協議会

国道219号整備の要望活動

上里工区歩道の早期整備など要望

三市町村議会国道整備促進合同協議会は、7月8日(火)に熊本県・宮崎県への要望活動を、8月18日(月)から19日(火)にかけて国への要望活動を行いました。この活動は、西米良村・西都市・湯前町の三市町村議会が連携し、毎年継続して実施しているものです。

■ 熊本県・宮崎県への要望活動と総会

	熊 本 県	宮 崎 県
要 望 先	県土木部 ・政策審議官 椎葉 泰三 ・道路保全課長 谷水 秀行 球磨地域振興局 ・土木部長 野間 卓志	・副知事 佐藤 弘之 ・県議会議長 外山 衛 ・県土整備部長 桑畑 正仁 関係担当次長、課長

7月8日(火)、熊本県への要望活動として、湯前町上里工区付近の歩道の早期整備促進と予算確保に関する要望書を提出しました。あわせて、緒方県議会副議長から応援の挨拶をいただきました。同日17時30分からは、アークホテル熊本城前にて本協議会の総会が開かれ、令和6年度の事業経過と決算、令和7年度の事業計画と収支予算(案)が審議され、全会一致で可決されました。

■ 国への要望活動

	福 岡 県	東 京 都
要 望 先	<国土交通省 九州地方整備局> ・道路部長 福井 貴規 ・道路情報管理官 石橋 賢一 ・道路調査官 小林 秀典	<県選出国会議員> ・衆議院議員 金子 恭之 ・参議院議員 松村 祥史 ・参議院議員 馬場 成志 <国土交通省> ・審議官 塩見 英之 ・道路局長 沓掛 敏夫 ・関係担当課長



要望書を読み上げる西委員長(県)



国土交通省要望(国)

西米良村議会との合同研修会 西米良村教育長の講演と現地視察

日 時	令和7年7月2日
場 所	西米良村役場
派遣議員	全議員

研修内容

(1) 講演「西米良村の今年度の教育事業」

講師 西米良村教育長 野添和洋氏

(2) 現地視察(2施設)

- ① 西米良温泉「ゆた〜と」宿泊棟 ※令和7年4月完成
既存の休憩施設を介護予防拠点施設簡易宿泊施設として改修
シングル：3室、ダブル：1室、ファミリー：1室



元休憩所を改修した宿泊棟

② 西米良村福祉住宅 ※令和6年7月完成

単身用(10畳)：4室、世帯用(14畳)：1室

入居資格：西米良村に住所を有し、65歳以上の高齢者のみの世帯、または障がい者のみの世帯で、自立した生活ができる方



運用開始間もない福祉専用住宅

委員会

総務厚生文教常任委員会

7月31日、9月11日

委員長	遠坂 道太
副委員長	田山 幸平
委員	山下 力、金子 光喜、森山 宏

次の所管事務を調査しました。

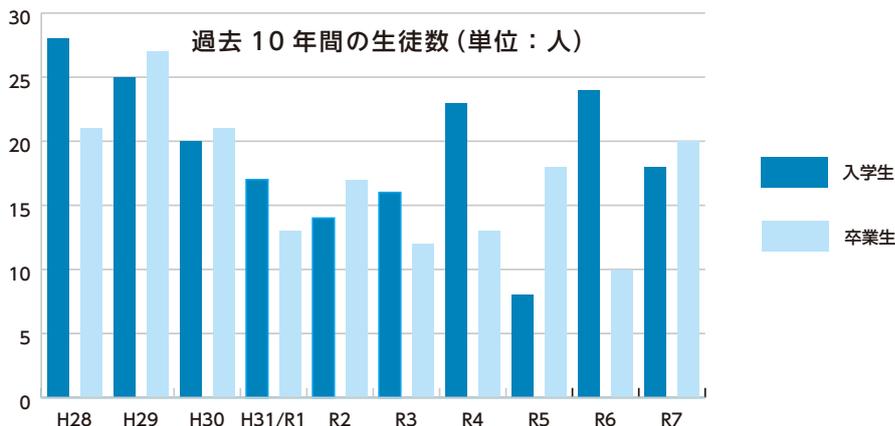
- ◎人吉球磨准看護学校へのさらなる支援を求める請願
- ◎町の環境衛生

人吉球磨准看護学校への支援請願を審査
請願趣旨を理解し地域医療の維持に配慮

本委員会では、「人吉球磨准看護学校へのさらなる支援を求める請願(請願第1号)」を2回にわたり審査しました。

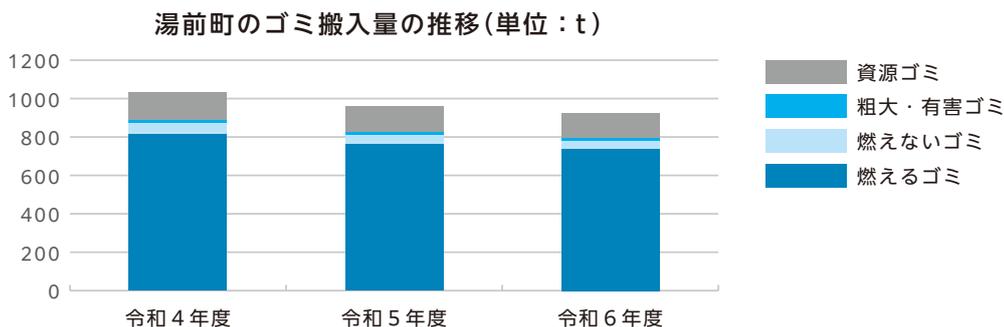
第1回審査では、請願内容の確認と、紹介議員の委員会出席の要請を決定しました。7月31日に開かれた第2回審査では、紹介議員の西議員より提出に至る経緯と趣旨説明を受け、請願者提出資料を基に慎重に審査しました。

請願の内容は、①補助金の増額、②ふるさと納税応援メニューに「人吉球磨准看護学院助成」を追加すること。これらは議会の権限事項には直ちに属さないものの、地域の医療体制の維持や人材確保の観点から趣旨は十分理解できるとの意見で一致しました。



ごみの減量と環境保全に向けて
13分別の継続や啓発活動で意識向上を図る

湯前町では、生ごみ処理容器などの設置補助やリサイクルステーションでの13分別を継続しています。また、町民の環境保全への意識を高めるために不法投棄防止の啓発も行い、広報誌、旬報、町内放送などでごみの減量や正しい出し方の周知に努めています。さらに、令和7年5月からは、猫などの動物死がい収集を業者委託で迅速化しました。



企画経済建設常任委員会

8月26日、9月11日

委員長	西 靖邦
副委員長	吉田 精二
委員	倉本 豊、味岡 恭、椎葉 弘樹

次の所管事務を調査しました。

- ◎サテライトオフィスの活用
- ◎レールウィング及びサテライトオフィスの活用

サテライトオフィスの活用 郡内施設の現地視察

本委員会では、これまでの所管事務調査の結果を踏まえ、広域的な視点からサテライトオフィスの活用実態を把握するため、あさぎり町と水上村の施設を視察しました。

項目	あさぎり町テレワーク施設	湯山サテライトオフィス
開設	令和6年2月	令和5年9月（既存施設改修）
施設内容	コワーキング1室、サテライト2室、シェア1室、ミーティングルーム・交流室、トイレ	コワーキング1室、サテライト1室、湯沸室、トイレ
設備サービス	ウォーターサーバー、コーヒー、ウェブブース、PCモニター	基本設備のみ
運営	町による予約制	村による予約制
利用者数	延べ815人 (町内690人、町外125人)	延べ61人 令和7年4月より1社企業進出
ランニングコスト	約100万円/年 管理システム70万円/年	約30万円/年
事業費	1億5900万円	3045万9000円



あさぎり町テレワーク施設視察



湯山サテライトオフィス視察

議会の窓

議長の窓

関連質問をなくしました

今定例会で、本町議会の議会基本条例の一部と議会会議規則の一部を改正して、一般質問の後の関連質問を廃止することにしました。

運用の難しさと、執行部の負担軽減が主な理由ですが、残念な思いもあります。

平成30年2月に開催された上球磨正副議長会主催の議員研修会で、龍谷大学(当時)の土山希美枝教授の講演がきっかけで、すぐに3月定例会で試行を始め、9月には本格運用に移しました。これまで7年間取り組んだ中で、「一般質問を一人ぼっちにしない」や「問題意識の共有」のメリットもあり、取り組みが注目されることもありました。しかし、運用上の決まりである質問者本人の主旨を外さず、あと一押しの一言(補足)から外れることもあり、議会改革の見直しの中で決定しました。



関連質問の導入を後押しした土山教授の研修会

議会事務局の窓

主な議会スケジュール【9月26日～12月17日】

活動内容	日程(予定)	対応者
議会全員協議会	9/26 10/27 11/25	全議員
子ども議会	9/29	全議員
球磨郡町村議会グラウンドゴルフ大会	10/7	全議員
熊本県町村議会議員研修会	10/9 (オンライン)	全議員
臨時会	10/20	全議員
郡議長会	10/21	金子
産業行政視察研修	11/5～7 岡山県、徳島県	全議員
上球磨正副議長会	11/18	金子、椎葉
議長全国大会	11/12～14	金子
定例会	12/11～17	全議員

一部事務組合

公立多良木病院企業団議会

4年ぶりの赤字決算

令和6年度決算

令和6年度は、入院収益の減少、薬品や資材の価格上昇、人件費の上昇などにより、病院事業、介護老人保健施設事業(シルバーエイト)は赤字決算となりました。また、総合検診センター事業(コスモ)は黒字決算でしたが、前年比で44%減少しました。

3事業を合計すると、9578万9000円の赤字決算となりました。

公立多良木病院3事業の決算額(単位：円)

		病院事業	老健事業	検診事業	3事業合計
令和6年度	収入	3,876,207,000	628,659,000	262,122,000	4,766,989,000
	支出	3,914,698,000	693,426,000	254,653,000	4,862,778,000
	純利益	△ 38,491,000	△ 64,767,000	7,469,000	△ 95,789,000

<公立病院議員 西・吉田>

人吉球磨広域行政組合議会

議会構成を一部変更

五木村議会議員の7月改選

7月6日(日)に行われた「五木村議会議員一般選挙」により、議会構成に変更がありました。

役職	議会	氏名
議長	球磨村	田代 利一 議員
議会運営委員長	山江村	中村 龍喜 議員
監査委員	多良木町	源島たまみ 議員

令和6年度決算特別委員会を設置

令和6年度一般会計歳入歳出決算の審査は、決算特別委員会(委員8名)に付託することが決まりました。委員長に本町議会の遠坂道太議員、副委員長に人吉市議会の宮崎保議員が選ばれました。

<広域行政議員 遠坂・田山>

年4回にわたりテーマを設定し、住民の皆さまからご意見をいただきます。

テーマ 「議会だより」 を読んでの感想



湯前小学校
校長
黒木 幸博 さん

会議内容や議員活動を分かりやすくまとめられており、「より開かれた議会」を実現する議会だよりと思います。教育関係は、特に関心を持って読んでいます。議会には、これからも町行政の監視、評価機関としての活動を期待しています。



瀬戸口区
柳瀬 鐵男 さん

議員には、二元代表制の中で行政活動が適切に執行されているかチェック機能を十分、果たしてもらいたいです。一般質問する議員の顔ぶれが毎回同じように感じています。議員には「町民第一」を考えて議会活動を行ってほしいです。

「住民の声」のインタビューをお願いされたときは、ご協力をお願いします。Tel 0966-43-4132

『議員・風刺や時代を読む』

漫画作品と議会のコラボ企画

この企画は、湯前町が取り組むマンガのまちづくりを、議会も積極的に応援する取り組みです。風刺漫画や時代を描写した風景画は、地方議会と密接に関わっており、政治の問題や社会の動きを批評的かつ啓発的に表現する重要な手法です。



『涼み棚』 那須 良輔 氏

▶ 那須先生が幼少期の頃を描いた作品です。川の上のにびる木の枝に涼み棚をつくり、昼寝を楽しむ少年たち。木には虫かごがつり下げられ、川の流れてスイカが冷やされています。

▶ 川辺の涼み棚で昼寝を楽しんだ子どもたちの笑顔は、時を経てレールウィング複合施設に響く元気な声へと重なっていくことでしょうか。遊び場の姿は変わっても、仲間と過ごす時間が心に刻まれることは変わりません。町の新しい施設や取り組みの中に、未来の子どもたちの思い出が育まれていくことを願っています。

(西)



◆ 広報常任委員会

私たちが編集しました。

委員長 田山 幸平
副委員長 椎葉 弘樹

委員 遠坂 道太
西 靖邦
吉田 精二

湯前町議会

検索

湯前町議会のホームページもご覧ください。

